

青森県知事 宮下 宗一郎 殿

黒石市長 高樋 憲

強い農業・担い手づくり総合支援交付金の事業実施に関する改善計画について

令和元年度において実施した強い農業・担い手づくり総合支援交付金について、当初、支援計画の成果目標の達成等が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので報告します。

記

|       |      |      |        |       |
|-------|------|------|--------|-------|
| 都道府県名 | 市町村名 | 地区名  | 事業実施年度 | 目標年度  |
| 青森県   | 黒石市  | 山形地区 | 令和元年度  | 令和3年度 |

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

| No. | 対象経営体名 | 成果目標     | 目標未達成となった主な理由等                                             | 目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等                              |
|-----|--------|----------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1   | ***    | 付加価値額の拡大 | 夏季の高温により収量が減少したことによるもの。市場流通が少なかったため、取扱価格は上昇したものの目標に達しなかった。 | 農業経営相談所等の支援機関に登録されている専門家を活用し、経費低減に向けた指導を行い、目標達成を目指す。 |
|     |        |          |                                                            |                                                      |
|     |        |          |                                                            |                                                      |
|     |        |          |                                                            |                                                      |

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

| 成果目標項目   | 未達成理由の総括                                                   | 目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等                              |
|----------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 付加価値額の拡大 | 夏季の高温により収量が減少したことによるもの。市場流通が少なかったため、取扱価格は上昇したものの目標に達しなかった。 | 農業経営相談所等の支援機関に登録されている専門家を活用し、経費低減に向けた指導を行い、目標達成を目指す。 |
|          |                                                            |                                                      |

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

|                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 担い手への農地利用集積について<br>農地利用集積等の現状をみると、担い手の高齢化問題、耕作放棄地の拡大等の課題がある。<br>今後は、新規就農者の拡大や若手の担い手の育成に努める。耕作放棄地については、担い手の高齢化や労働力不足等により拡大しており、好条件の農地に移行する傾向にある。農地利用集積については、農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進する。 |
| 2 必要となる中心経営体の育成について<br>将来の地域農業に関する地区全体のコンセンサスが十分にまとまっていない地区における中心経営体の育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。                                                                                          |
| 3 人・農地プランの作成・見直し等について<br>令和2年3月25日に人・農地プランを実質化した。今後も担い手の確保に努め、農地の利用集積を図っていく。                                                                                                           |
| 4 未達成者への対応等について<br>構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について、中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況を踏まえて、関係者、JA、農業普及振興室等と定期的に情報交換し、検討する。                                             |

〔記入要領〕

- 1 Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。  
なお、必須目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導の内容を記入すること。
- 2 IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- 3 IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。